



生誕240年 五之橋が生んだ浮世絵師

江戸を描く・五渡亭国貞



歌川国貞「星の霜当世風俗 蚊やき」太田記念美術館蔵

大島・亀戸を結ぶ五之橋付近に生まれた五渡亭（歌川）国貞、後の三代歌川豊国。国貞は79年にわたる生涯を主に現在の江東区を拠点とし、第一線で活躍し続けました。「五之橋」の地元である当センターで取り上げ、地域の歴史と共にその偉大な足跡を紹介します。

講師：渡邊晃（太田記念美術館上席学芸員）

久染健夫（江戸・東京郷土史研究者）

日程：木曜日 全4回 2026年

1月29日、2月12日、

2月26日、3月5日

時間：各回毎に異なります

会場：江東区総合区民センター

7階・第5会議室ほか

定員：20名

参加費：受講料 5000円（全4回分）

教材費 500円（全4回分）

協力：株式会社船橋屋

1/29
木

15:30-17:00 講師：渡邊晃
「江戸を描き続けた絵師・国貞①」
その生涯と代表作

2/12
木

15:30-17:00 講師：渡邊晃
「江戸を描き続けた絵師・国貞②」
幕末の歌川派と門下たち / 浮世絵に描かれた江東区

2/26
木

14:00-15:30 講師：久染健夫
「国貞が暮らした当時の江東区」
亀戸・大島を中心に

3/5
木

14:00-16:30 講師：久染健夫
「国貞ゆかりの地を訪ねる」
区民センター出発～光明寺ほか（現地解散）